

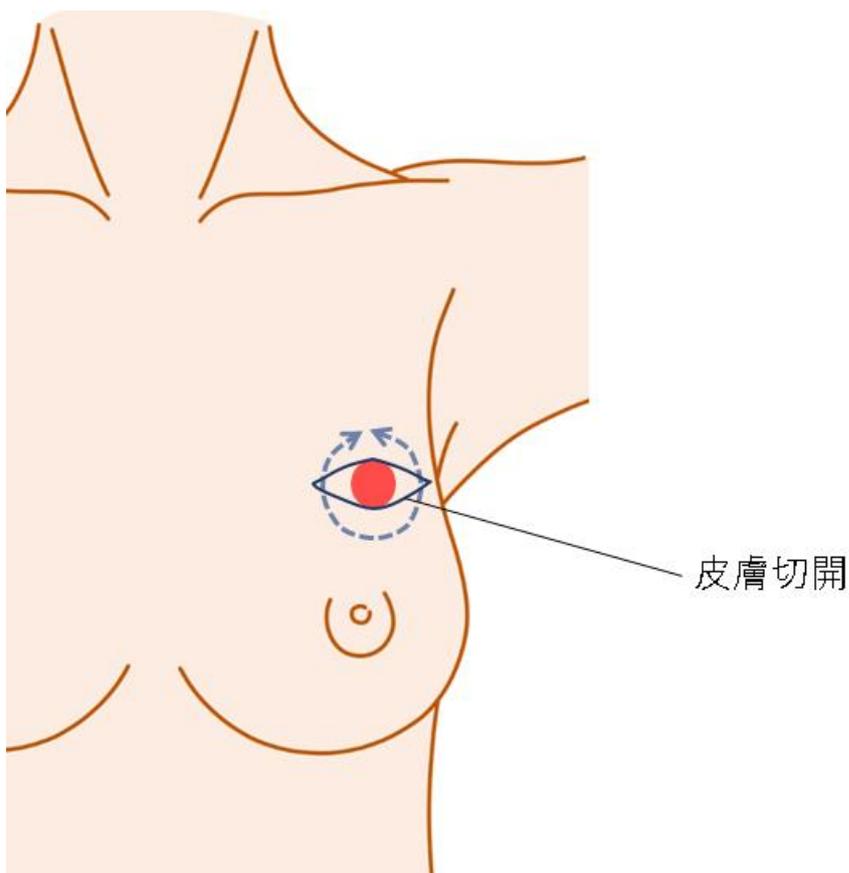
<乳癌の手術>

・乳房部分切除術+センチネルリンパ節生検

乳房に主に 3cm 以下の乳癌が生じ、遠隔転移がない場合に、腫瘍から 1-2cm のマージンを取って乳房を部分切除し、残った乳房を寄せ合わせて形を整えます。

乳癌は腋窩（わきのした）のリンパ節に転移することがあります。ただし、腋窩リンパ節をすべて切除してしまうと、将来左腕がむくむリスクが高くなります。そこで、転移するとしたら最初に転移するであろうリンパ節（センチネルリンパ節）1-3 個ほどを乳房に色素を注入することで同定・摘出（センチネルリンパ節生検）し、手術中に顕微鏡で癌があるか確認して転移がなければそれで終わりとします（腋窩リンパ郭清の省略）。転移があっても数が少ない場合などの条件によっては、腋窩郭清しないこともあります。当院では色素（インジゴカルミン）を注入して肉眼的に確認するほか、インドシアニングリーンを併せて注入し、蛍光させて確認する方法を併用しています。

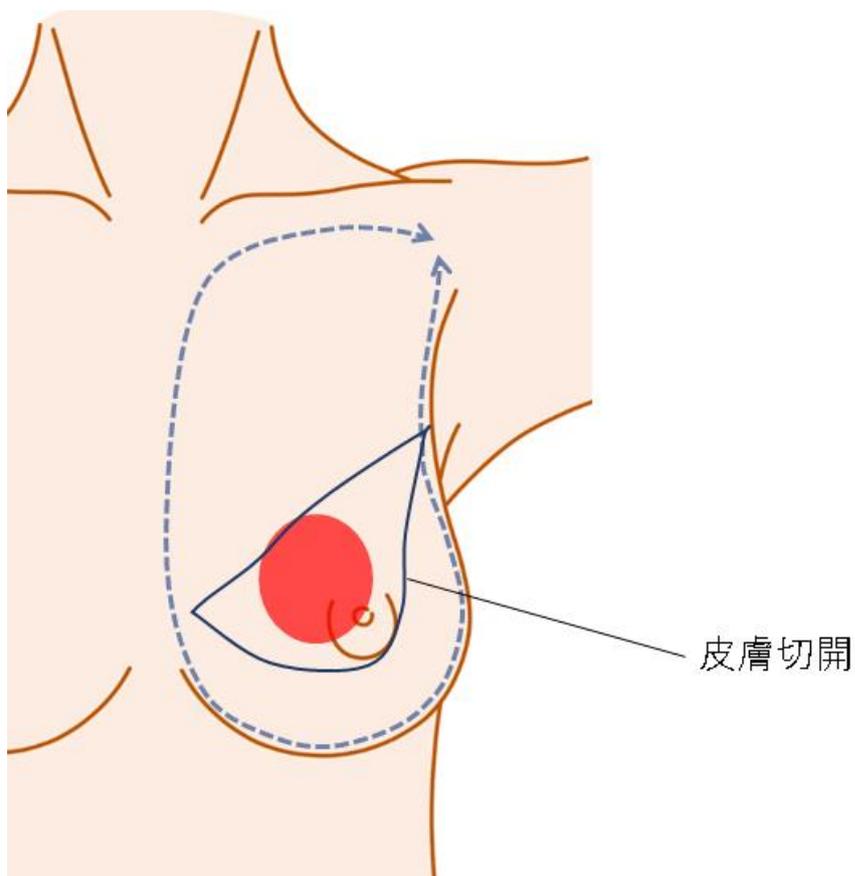
乳房を温存した場合、そのままだと残った乳房に癌が再発することが少なくないため、他施設のご協力のもと、10 数回ほどの放射線照射を通院で行っていただきます。照射を行えば、残った乳房に癌が再発する可能性はかなり低くなります。



・乳房全切除術+センチネルリンパ節生検

乳房に3cmをこえる癌が出来た場合や、乳房の温存を望まない場合、照射のための通院が困難な場合などに、遠隔転移がなければ、大胸筋の上にいる乳房を全切除します。滲出液を排出するドレーンというビニールの管を一時的に留置します。左右の胸の形に差が出ますが、矯正下着をつけるなどすれば、服の上からは分からなくなり、通常の日常生活が可能です。

上記「乳房部分切除」で記載したセンチネルリンパ節生検を行い、転移がある場合は、腋窩リンパ節を全切除します（腋窩リンパ郭清）。



センチネルリンパ節生検

※ センチネル：尖兵

